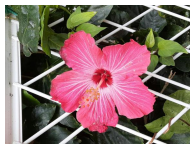


『風は南から』

令和7年度 校長室便り
(7月18日)(第8号)



「他人のためならできるんですよ」

先日行われた「キャリアデザイン講座」で、知名町社会福祉協議会の橋口様が社会福祉の魅力について話された言葉が心に残りました。

「困っている人と課題を共有して一緒にその課題を乗り越えた時、本当にやってよかったと思うし、自分のためにできないことも、他人のためにはできるんですよ。」自分のために何か試験に合格しようとか資格を取得しようとして途中で挫折することがあっても、これがあれば他人を手助けできると思えば、不思議と努力が継続できるものだと思えました。

地域の中には、困難を抱えた高齢者・障がい者・児童、そして生きること絶望している方々も多くいらっしゃるそうです。しかし、どの分野の仕事も人手不足が深刻な課題であるようです。自分のできることで何か問題解決の手助けをしたいものです。

1年生心肺蘇生法とAED研修会



7月15日(火) LHRを利用して、1年生対象の「心肺蘇生法」と「AEDの使用法」、並びに「熱中症等の対処法」に関する研修会が行われました。講師として、沖永良部与論地区広域事務組合消防本部から6名の消防隊員が参加してくださいました。

事前に保健体育の授業で研修を受けていたようで、私が想像していたよりもスムーズに心肺蘇生法を実施できていました。夏休みに入ると本格的に部活動や地域の行事に参加したり、レジャーで海等を訪れたりする機会が増えると思います。万が一に備えて研修した内容を確認し、日頃から安全に対する意識を高めておいてください。

「医療と福祉の仕事の魅力」

キャリアデザイン講座



7月11日(金)神奈川県にある田園調布学園大学の和秀俊教授(ご両親が沖永良部島出身)の発案で、「医療と福祉」に関するキャリアデザイン講座を開いてもらいました。当日は、放課後ではありましたが、医療・福祉分野を志望する3年生5名と2年生2名が

参加しました。

学校医の町田先生や知名町社会福祉協議会の橋口様、和泊町社会福祉協議会の濱崎様、オンラインで株式会社ひいらぎ会長の茂呂様にも講師として講義をしていただきました。

沖永良部島の抱える医療と社会福祉の問題、さらに働く方々の生きがいや人生観についても、それぞれの立場からお話していただき、私も福祉に関する見方が変わった気がします。まずは知ることが大事だと改めて思いました。そして、高校生に向けて「自分の幸せの輪を広げていくこと」「人生は何があるかわからないし、自分が楽しいと思うことを形にすることが大切」「島のため、人のために役立つ人になってほしい」というメッセージをいただきました。

オープンデータ利活用出前講座



7月9日(水)サイバー大学IT総合学部教授で県DX推進アドバイザーの勝眞一郎先生を講師にお招きして、1・2年生の普通科対象の「オープンデータ利活用出前講座」を行いました。

今回は、「せりよさ(総合的な探究の時間)」の一環として、誰でも使える公開されたオープンデータを社会や身近な問題の解決にどう活用すればよいのかについて、分かりやすく説明していただきました。例えば、オープンデータを使って、沖永良部島とほぼ同じ人口の他の自治体のゴミの量やリサイクル率を比較しただけでも違いに気づき、疑問が生まれます。それを探究する際にデータをうまく活用すれば、説得力の高い説明ができること等を学びました。また、アンケートの取り方にも工夫が必要であることがわかりました。探究活動をする上で大変参考になるお話ばかりでした。皆さんもこの学びをこれからの自分の活動にぜひ生かしてくださいね。

ALTの離任式



7月10日(木)がALTのAidan Carey先生の来校が最後の日ということで、離任式を行いました。

Aidan先生は、大島北高校の所属ですが、毎月約1週間本校を訪問し、英語の授業に参加してくださいました。式では、日本語で「英語は難しいかもしれませんが、未来を切り拓く大事なスキルですので続けて勉強してください」と最後のメッセージをいただきました。そして、生徒を代表して田中生徒会長が、英語でお礼の言葉を述べました。

Aidan先生は、来月カナダに帰国されるそうです。自然と動物が大好きでマジックはプロ並みのAidan先生、1年半本当に世話になりました。先生の今後のご活躍を祈念しています。

校内ビブリオバトル大会

7月10日(木)放課後、学校の代表者を決める校内ビブリオバトル大会が実施されました。今年は、4名のバトルヤーがエントリーしました。

氏名	本のタイトル
福井さん	誰か勇者を殺したか
南さん	文豪ストレイドッグス外伝
前田さん	豪スリッパを押すとき
中野さん	だから僕は大人になれない



1人5分で自分の好きな本の紹介をして、その後2分間の質疑応答をし、「どの本を読みたくなったか」という観点で聞いた人に投票してもらいました。投票の結果、福井(1年)さんが、県大会出場の内定を手にしました。4人の発表を聞いて、その本の魅力や出てくる登場人物に惹かれたこと、そして、いかに自分の考え方や生き方に影響を受けたかが伝わってきました。全校生徒にも聞かせたい内容の大会でした。